

トップスポーツチームと地域貢献・セカンドキャリア



株式会社横浜フリエスポーツクラブ（横浜FC）

設立理念

プロスポーツチームを持った地域参加型クラブへ

- ①地域におけるスポーツ文化の醸成の礎となり地域に貢献する。
- ②市民・行政・企業の協力を仰ぎながら三位一体となった生活に密着した地域参加型のクラブ組織の確立を目指す。
- ③サッカーにとらわれず様々なスポーツの理念、そしてJリーグ理念に基づき、スポーツを楽しむことができる市民のためのスポーツクラブの実現を視野にいたしたクラブ運営を行う。

ミッション

横浜という地域社会にとって欠かすことのできない、「楽しみ」、「心の拠り所」、「プライド」、「街のシンボル」、「大切な産業」を提供し続ける存在になる

横浜FCではニッパツ三ツ沢球技場をホームスタジアムとしてホームゲームを開催しています。（年間20試合程度）

ニッパツ三ツ沢球技場は、1955年に建設された歴史あるスタジアム。フットボール専用スタジアムとして、ピッチと観客席の近さは、試合を戦う選手たちの声や息使いも感じることができる、臨場感をあふれるスタジアムです。

横浜を、
もっと好きに
なる場所。



ニッパツ三ツ沢球技場での取組み



福祉作業所ブース（横浜FC×市内作業所×横浜市障害支援課）

コロナ禍において作業所へ委託される仕事が激減しており、ホームゲーム会場で作業所での仕事内容の紹介や、作業所で作っている、クッキーやお弁当などの販売をすることで、一般の方との交流、販売機会の創出の場としても活用。
就労体験の場としても障がい支援課と連携。



リサイクル事業（横浜FC×横浜市資源循環局/パートナー）

横浜市資源循環や障害者就労支援などSDGsの取組強化を目的とした使用済み携帯電話のリサイクル事業や、ペットボトルキャップを回収して、横浜FCグッズをプレゼントする「PETボトルキャップ回収PJ」などを、毎試合で実施。

PETボトルキャップ回収プロジェクト



1 試合会場でPETボトルのキャップを回収



横浜FC
ホームゲーム開催
スタジアム

4 さまざまなグッズに生まれ変わります!

サポーターのみなさまの手に戻る製品に

PETボトル
キャップ回収
プロジェクト

2 集まったキャップを湘南貿易がリサイクル業者様へ送付

3 リサイクル業者様が加工・製品化



サポーターのみなさま、協力してね!



キーホルダー



携帯電話の
リサイクル回収に
ご協力ください。



地産地消ブース（横浜FC×横浜市農政推進課）

日常の暮らしの中で、横浜の農業・農畜産物のつながりをつくっていき、横浜の地産地消をもっと市民に発信していく場面として実施



献血応援プロジェクト（横浜FC×赤十字）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、県内の献血中止が相次ぐ状況が続いており、さらに冬期の献血者確保の厳しい時期も重なり血液の供給に支障をきたす恐れがあり、輸血用血液を日々安定的に患者さんのもとへお届けするために、赤十字献血センターと協働した取組みを実施。

「神奈川骨髄移植を考える会」とも協働で「骨髄バンクドナー登録会」を実施し、ご登録いただいた方には記念品を進呈。



横浜FC×赤十字「けんけつちゃん&フリ丸」限定オリジナルミニタオル





MORE VIDEOS

▶ ◀ 1:28 / 4:46

CC ⚙️ YouTube

コロナ禍における取組み



YOKOHAMA FC
ただしい手あらいをしよう
 ただしい手あらいをして、新型コロナウイルスから自分と大切な家族を守ろう

ASSIST LIFE
 produced by YOKOHAMA FC

ゴールに向かう、あなたの毎日に。
 人々の暮らしを持つゴール。
 「清潔な手」
 「適切な手の乾燥」
 「十分な換気」が安心の環境づくりです。これらを実現するために、アシストライフの手洗剤を開発しました。

いつも清潔な手を持つゴール。アシストライフの手洗剤は、清潔な手と適切な手の乾燥を実現し、十分な換気を実現するための環境づくりをサポートします。

ワクチン plus
キャンペーン
 ～一歩を踏み出すあなたを応援します～

横浜FC No.10 中村俊輔 選手

横浜FCの中村俊輔です

ONODERA GROUP

▶ ◀ 0:25 / 0:34

小児科病棟の子どもたちへクリスマスプレゼント贈呈

スタジアムの真横にある、横浜市民病院に入院している子どもたちにクリスマスプレゼント企画として訪問。コロナ禍により選手による訪問はできませんでしたが、横浜FC代表より、市民病院院長へ代表して、子どもたちへのプレゼントと、ハンドソープの贈呈実施。



YOKOHAMA FC
ただしい手あらいをしよう
ただしい手あらいをして、新型コロナウイルスから自分と大切な家族を守ろう

- 1 手のひら
- 2 手の甲
- 3 つめ
- 4 指の間
- 5 親指
- 6 手首
- 7 水洗い
- 8 拭く

ゴールに向かう、あなたの毎日に。
ASSIST LIFE
produced by YOKOHAMA FC

人々が関心を持つゴール。
「安心効果」
「香り効果」
「中にも菌数が低減に役立ちます」
そんな日々の願いに叶ってあげられないゴール。
この変わりゆく世界の中でも、そのゴールに向かえるように、チームの戦いに思いをこめて開発された。
いつも応援してくれるファン・サポーターのみんなの笑顔がゴールを、目指さなければならぬ。だから、最高のアシストを送りたい。



コロナ禍における取組み



新型コロナウイルス感染症予防対策動画製作（横浜FC×横浜市）

新型コロナウイルス感染症の予防対策および拡大防止の一環として、横浜市健康福祉局健康安全課と協働で、新型コロナウイルス感染症対策に関する動画を制作。横浜FCの各媒体や、横浜市公式チャンネル等で広く動画を配信。



ワクチン接種キャンペーン動画（横浜FC×横浜市）

横浜市内の若い世代を中心に、さらに多くのワクチン接種を検討していただくため、「ワクチンplusキャンペーン」動画として、中村選手からメッセージとして呼びかけ実施。



横浜FCの中村俊輔です

ワクチン  plus
キャンペーン
～一歩を踏み出すあなたを応援します～

 横浜 FC No.10
中村俊輔 選手

0:25 / 0:34

感染予防啓発活動（横浜FC×小学校）

横浜市内小学校へ訪問し、新型コロナウイルス感染予防動画を活用しながら、小学校低学年生向けに、手洗い教室を実施。また、手洗い教室では横浜FCとファンケルラボ（横浜市本社）で共同開発した、サッカークラブがつくるハンドソープを活用し、訪問した小学校へ提供。





住み続けられるまちづくりを ～子どもが元気な街～



中学生向けSNS講習会（横浜FC×中学校×パートナー）

中学1年生のスマホ所持率が9割近く。

ネット社会の低年齢化を肌で感じると共に、既にDMで詐欺メッセージを受け取ったことがある生徒も。子ども達に危険が隣り合わせになっていることを実感。つい先日も残念ながら、SNSによる中学生による事件が発生しており、SNSの危険性の意識を高くもつ機会として実施。



住み続けられるまちづくりを



朝の挨拶運動（横浜FC×警察署）

コロナ禍による分散登校から通常授業が再開され、子どもたちが安全に登下校できるよう、朝の挨拶運動を実施。

保土ヶ谷区内の小学一年生は横浜FCマスコットのラセルカバーをつけていただいていたたり、マスコットの横断中フラッグで安全な登下校の呼びかけを実施。



住み続けられるまちづくりを



夢で逢えたら（横浜FC×小学校）

夢をもつ大切さを教える授業として、三浦知良選手がヴィッセル神戸在籍時に発案して、横浜FCでも続けている活動。選手は「人間力」に必要な3つのことを意識しながら人間力を高めていった自身の経験などを話しながら、今は夢がなくても楽しいと思うことを大事にして焦らず好きなこと、楽しいとおもうことをみつけてほしい。「人間力」が必ず味方になり一緒に夢を目指してくれた人が、また新しい夢への助けをしてくれる。



住み続けられるまちづくりを



グラスルーツフェスタ（横浜FCアカデミー×地域）

横浜FCユース（高校生）選手が市内サッカー少年、少女たちに向けてユース選手自らが「企画」「運営」「指導」に携わるサッカークリニックを実施。



住み続けられるまちづくりを



住み続けられるまちづくりを



横浜FCお便り (ハマはま便り)

横浜市内の約17万人の市立小学校にかよう全生徒に向けて、子どもたちも楽しみながら学べる、新型コロナウイルス感染防止クイズや、SDGsクイズ、市営地下鉄100周年記念と関連したクイズなど、お便りとして届け。

**だよ
ハマはま便り**
HAMA-HAMA
DAYORI

みんなで一緒に
スタジアムに行こう!

2月号
February
2021
発行元 横浜FCファンクラブ

新型コロナウイルス感染防止クイズ 全問正解を
めざそう!

**フリ丸
まちがい探し**

観戦のしかたでまちがったところが**3つ**あるよ! **Q**をつけてね!

正しいものに○をつけてね! Q2

Q1 今日はおかしいお出かけの日! でも、なんとなき調子が悪いのは、**なん**とき、どうしたらいいかな?

Q2 トイレの後やおうちに帰った時、手洗いのやり方でまちがっているのはどれかな?

- ① 水道水で15秒洗うだけでも効果がある
- ② 石けんを使って手を洗うとさらに効果がある
- ③ 石けんを使わないと効果がない
- ④ 手が洗えないときは、70%以上のアルコールスプレーなどをすりこむことで代用できる

正しいものに○をつけてね! Q3

向かい合ってお話をするとき、一番前後がとびにくい場所はどこ? (マスクはしているよ)

Q3 ニッパツ三ツ沢球技場に近しいの地下鉄の駅はどの駅?

- ① 三ツ沢上町
- ② 三ツ沢下町
- ③ 片倉町

正しいものに○をつけてね! Q4

市営バスの運送バスのなまえは? **ペイサイド**

対象の試合会場外総合案内所に答えを書いて持ってきてね。フリ丸からステキなプレゼントがあるよ!

横浜市営交通100周年特設サイト <https://kotsu100th.city.yokohama.lg.jp/>

1921年、横浜市営交通は路面電車にはじまり、トrolleyバス、バス、地下鉄と横浜の街とともに歩んできました。これまでの100年の歴史や100周年記念の取り組み、これからの取り組みのことが紹介されています。

**だよ
ハマはま便り**
HAMA-HAMA
DAYORI

みんなで一緒に
スタジアムに行こう!

5月号
May
2021
発行元 横浜FCファンクラブ

横浜市営交通100周年クイズ

**フリ丸
まちがい探し**

フリ丸といっしょの地下鉄ブルーラインと市営バス。上と下でのまちがいをさがしてね!

4つ!
あるよ

Q2 ニッパツ三ツ沢球技場に近しいの地下鉄の駅はどの駅?

- ① 三ツ沢上町
- ② 三ツ沢下町
- ③ 片倉町

Q3 市営バスの運送バスのなまえは? **ペイサイド**

対象の試合会場外総合案内所に答えを書いて持ってきてね。フリ丸からステキなプレゼントがあるよ!

横浜市営交通100周年特設サイト <https://kotsu100th.city.yokohama.lg.jp/>

1921年、横浜市営交通は路面電車にはじまり、トrolleyバス、バス、地下鉄と横浜の街とともに歩んできました。これまでの100年の歴史や100周年記念の取り組み、これからの取り組みのことが紹介されています。

**だよ
ハマはま便り**
HAMA-HAMA
DAYORI

みんなで一緒に
スタジアムに行こう!

10月号
October
2021
発行元 横浜FCファンクラブ

**フリ丸
SDGsクイズ**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

監修: 横浜市環境化対策統括本部
SDGs未来都市推進課

SDGsとは()年までに地球環境や世界中の人たちの暮らしを守りながら、いろいろな問題を解決して、よりよい世界を目指す国際目標です。
()に入る数字はなんでしょう?

1 2030 2 2040 3 2050

Q1 今日はおかしいお出かけの日! でも、なんとなき調子が悪いのは、**なん**とき、どうしたらいいかな?

Q2 トイレの後やおうちに帰った時、手洗いのやり方でまちがっているのはどれかな?

- ① 水道水で15秒洗うだけでも効果がある
- ② 石けんを使って手を洗うとさらに効果がある
- ③ 石けんを使わないと効果がない
- ④ 手が洗えないときは、70%以上のアルコールスプレーなどをすりこむことで代用できる

Q3 ニッパツ三ツ沢球技場に近しいの地下鉄の駅はどの駅?

- ① 三ツ沢上町
- ② 三ツ沢下町
- ③ 片倉町

Q2 観戦後に出た食べ物や飲み物のゴミを分別して捨てることは、SDGsのどの目標に関係するでしょう? ☆をつけてみてください。

Q3 ニッパツ三ツ沢球技場のスクリーンはLEDが使われています。LEDを使うと電気を節約することができます。LEDを使うことはどの目標に関係するでしょう? ○をつけてみてください。

ひとつの活動がいろいろな目標につながるの、ご家族みんなで一緒に答えの理由を話し合いながら考えてみよう!

対象の試合会場外総合案内所に答えを書いて持ってきてね。フリ丸からステキなプレゼントがあるよ!

横浜市FCは、横浜市環境化対策統括本部と協働で横浜のまちづくりに取り組んでいます。

住み続けられるまちづくりを



神奈川ローカルSDGsカップ開催

日時：2021年7月11日(日) 9時～17時（午前8時集合）

場所：深谷通信隊跡地グラウンド（横浜市泉区中田町）

主催：神奈川ローカルSDGsカップ実行委員会

※横浜FCは協賛として参加。またグループ会社のLEOCからは社会人チームLEOC FCの選手たちが審判として参加。

主旨：

サッカーの試合や練習時など、子ども達が家や親から離れている状態で地震などの災害に遭遇した場合、サッカークラブは自ら身を守る行動（自助）や地域企業や団体との連携した対応（共助）を取ることが必要。

「神奈川ローカルSDGsカップ」では、神奈川県下の8チームの少年サッカーチームによる試合を行うとともに、試合中に大地震が発生したとの想定のもと、ゲーム形式でポイントを競う「スポーツ防災」を啓蒙する取り組みを実施。

また、神奈川県内のローカル企業や団体によるSDGsの取り組みも展示紹介し、神奈川県内のサッカーチームの交流を深めるとともに、地域防災や地域貢献に関する子供達や保護者の意識を高め、地域循環共生圏を創出していくことを目指し開催。

サッカーの練習中の防災意識の向上と啓発

グラウンドで災害や大きな怪我などがあった場合に、適切な対応ができるように、事前に自分たちや招待者の安全に関わる項目について会場及び会場周辺のチェックをチーム単位で実施。

もしもサッカーグラウンドで災害が起きたら？！

サッカー防災 **✓どこでもチェック**

場所 _____

チェック日 _____ 年 月 日

1	地震が起きたその瞬間	ゴールがあぶない	ゴールは鉄・アルミ製で、倒れないように固定されている・いない。
2	水分補給、ケガの手当にも	水の準備	グラウンド内に水道は <input type="checkbox"/> ある・ <input type="checkbox"/> ない。 自販機は <input type="checkbox"/> ある・ <input type="checkbox"/> ない。災害用ベンダーになっている・いない。
3	ケガの手当て・脱水症対策	救急箱をチェック	ねんざやうちみに対応できるものは <input type="checkbox"/> ある・ <input type="checkbox"/> ない。 冷却スプレーや冷感パック等冷やすものは <input type="checkbox"/> ある・ <input type="checkbox"/> ない。 脱水時等の経口補水液（OS-1など）は <input type="checkbox"/> ある・ <input type="checkbox"/> ない。
4	意識がない？！呼吸が止まるかも	AEDが命を救う	試合中にAEDが必要になった場合、一番近いAEDのある場所は _____。 往復徒歩 _____ 分程度。土日 受け取れる・受け取れない。
5	大きなケガや事故が起きたときに	救急車を呼び救急隊員の誘導を!!	通報時のこの住所は _____。 目印は _____。
6	災害時、ここは安全？	この土地を知ろう	海拔（標高）は _____ m。津波、河川の氾濫の危険性は <input type="checkbox"/> 高い・ <input type="checkbox"/> 低い。 土砂災害時の一番近い避難場所は _____。
7	大地震のとき、安全ならここに留まる	しばらくいるなら必要なもの	トイレは _____ にある。ふだん、水は <input type="checkbox"/> 流れる・ <input type="checkbox"/> 流れない。 トイレトーパーは <input type="checkbox"/> ある・ <input type="checkbox"/> ない。
8	避難や帰宅するときに	必要なもの、情報を手に入れよう	もよりの災害時帰宅支援ステーション等は _____。 徒歩 _____ 分です。
	帰宅できるように	給油	一番近いガソリンスタンドは _____。 災害対応型給油所になっている・なっていない。 _____ 171で

試合・練習中の防災意識の向上と啓発

サッカーの練習中や試合中に大地震が起きたことを想定し、準備や初動対応に関するレクチャーとワークショップを行い、子ども、指導者、審判、保護者、関係者等と共に防災意識の向上と啓発を実施。



試合中の地震災害発生シミュレーション

もしも試合中に地震災害が発生したら？
試合を中断し、安全な場所に移動する体験演習実施。

ゴール倒し&持ち上げ

ゴールを実際に倒してみても危険をイメージし避ける意識を高めるとともに、もしも倒れて挟まってしまった場合に持ち上げられるかを体験。



神奈川県地域企業・団体によるSDGsの取り組みの展示・紹介

(1) 地域の竹林問題と竹材の利活用

子育てコミュニティLei と梅鉢TMCによる竹パークと竹の脛当てワークショップ実施。



(2) 停電時の電力確保～ソーラーテーブル～

(3) 貧困国の支援活動の紹介

(4) 国産材を使った木育ワークショップ

横浜の魅力発信/その他

相鉄沿線の郊外部4区の魅力あふれる自然スポット紹介

横浜市旭区・保土ヶ谷区・泉区・瀬谷区の4区で制作する魅力的な自然スポットを紹介する動画制作に協力し、相鉄線沿線の魅力向上や地域の活性化を図っていくため、4区の魅力である自然スポットを紹介する動画を作成。



市内商店街の魅力紹介

区役所と連携して横浜FC C.R.O のウッチーこと内田智也とフリ丸が、同区内の商店街の各店舗の魅力映像で紹介。地域に根差した商店街ならではの人情味豊かな風景と共に、お店の特徴やおすすめ商品紹介。マスコットの焼き印を使ったどら焼きも販売し、その売り上げの一部は、子供の未来応援基金として寄付。

保土ヶ谷区内商店街 レシートキャンペーン～



お買い物やお食事をして、横浜FCと商店街を応援しよう!

がんばれ!横浜FC
行こう!商店街 保土ヶ谷区
レシートキャンペーン

お買い物対象期間 / 11月1日(日)～
応募締め切り / 11月25日(水)まで

プレゼント賞品 合計46名様

- ホームゲーム観戦ペアチケット無料引換券一巻15組(12月16日(水)vsガンバ大阪 12月19日(土)vs横浜F・マリノス)
- 2019 シーズン斉藤光毅選手着用ユニフォーム…1名様
- ベースボールシャツ…5名様
- オリジナルタオルマフラー…10名様

応募方法

- 期間中に商店街でお買い物やお食事をしてレシート等を取ります。
- このチラシの裏面に必要事項を記入し、合計1,000円(税込)以上のレシート等を添え応募箱に投入。
※レシート等の合計金額が1,000円(税込)以上であれば枚数は問いません。
- 応募いただいたレシート等の返却はできません。
- 当選発表は抽選の結果をもちひかさせていただきます。
- ※区役所への応募。持参も受け付けます。(11月25日必着)



対象商店街(保土ヶ谷区商店街連合会加盟)

天王町商店街 / 保土ヶ谷駅東口商店会 / 共善寺松原商店街 / 和田町商店街 / 保土ヶ谷駅西口商店街 / 保土ヶ谷駅西口つぎ会 / 仏向町水通商店会 / 西谷商業会 / 和田駅前商店街 / 上原川商店会 / 鎌沢商店会 / 千丸台商店会 / 鶴山商店会

主催：保土ヶ谷区役所 / 保土ヶ谷区商店街連合会 / 横浜FC
問合せ先：保土ヶ谷区役所地域振興課 〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町2-9 TEL: 045-334-6308



特殊詐欺や交通事故に注意を呼び掛けることを目的とした、警察署による交番の日制定記念日の「地域安全キャンペーン」

警察車両広報用防犯アナウンス活動



横浜FCヨコハマぽるとカップ

さまざまな障がいのある方が社会との繋がりを持つことや、サッカーやフットサルを通じた社会参加の促進と余暇の充実を図ること、障がい者スポーツの普及と交流の場を広げるとともに、生活の幅を広げ、ひいては生活のしづらさを解消していくことを目的として実施。（2021開催で12度目）



障がい者スポーツ





スポーツ選手セカンドキャリア



内田智也プロフィール



横浜FCで10年以上プロサッカー選手として1在籍した内田智也さんは、現在横浜FCの広報担当兼C. R. Oとして活動中。



内田智也プロフィール

1983年7月10日生まれ（37歳） 三重県出身

166cm 62kg A型

Jリーグ通算308試合出場（J1 78試合 J2 230試合）

経歴：四日市中央工業-横浜FC-大宮アルディージャ-ヴァンフォーレ甲府-横浜FC-サウザンディストリクト（香港リーグ）

2002年 四日市中央工業高校卒業、横浜FC加入

2006年 横浜FC J1昇格

2008年 大宮アルディージャ移籍（～2010）

2011年 ヴァンフォーレ甲府移籍

2012年 横浜FC移籍（～2016）

2017年 香港プレミアリーグ（1月～6月）

2017年9月 現役引退

2017年 横浜フリエスポーツクラブ入社

※現役生活は約16年で、現在は横浜FC C. R. O

C.R.O(Club Relations Officer)



横浜FCとファン・サポーター、地域社会、ステークホルダーをつなぐ存在として多岐にわたりクラブの顔としてC.R.Oとして活動中。

活動内容) 横浜FC×地域活動への稼働、スタジアムでのトークイベント、横浜FC応援番組MCなど





ニッパツ
YOKOHAMA FC
seagulls

ニッパツ横浜FCシーガールズは横浜をホームタウンに活動しているなでしこリーグ1部に所属するサッカークラブです。



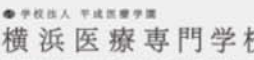
ニッパツ横浜FCシーガルズ



2021シーズンは、23名の選手が在籍しており、
そのうち20名が9社のパートナー企業で働きながら、
選手生活をしています。



OFFICIAL CLUB PARTNER



■選手の平日スケジュール

選手は各パートナー企業にてアスリート社員として雇用いただき、主に平日の13時-18時の間勤務をしています。

※週末に試合があるため、月曜日は休みとしていただいている企業も多数

7時 : 起床

8時 : 練習開始@横浜FC東戸塚フットボールパーク

10時 : 練習終了

13時 : 業務開始

18時 : 業務終了

■業務内容

主な業務内容は事務作業がメインで、総務や広報担当が多数

■セカンドキャリア

2021シーズンは5名引退(予定)をする選手がおり、一人は横浜FCサッカースクールにて、コーチとして働くことが決まっております、一人はパートナー企業にて、継続して正社員として業務が決まっています。

その他の3名の選手は中途採用として既に新しい会社への就職が決定している。

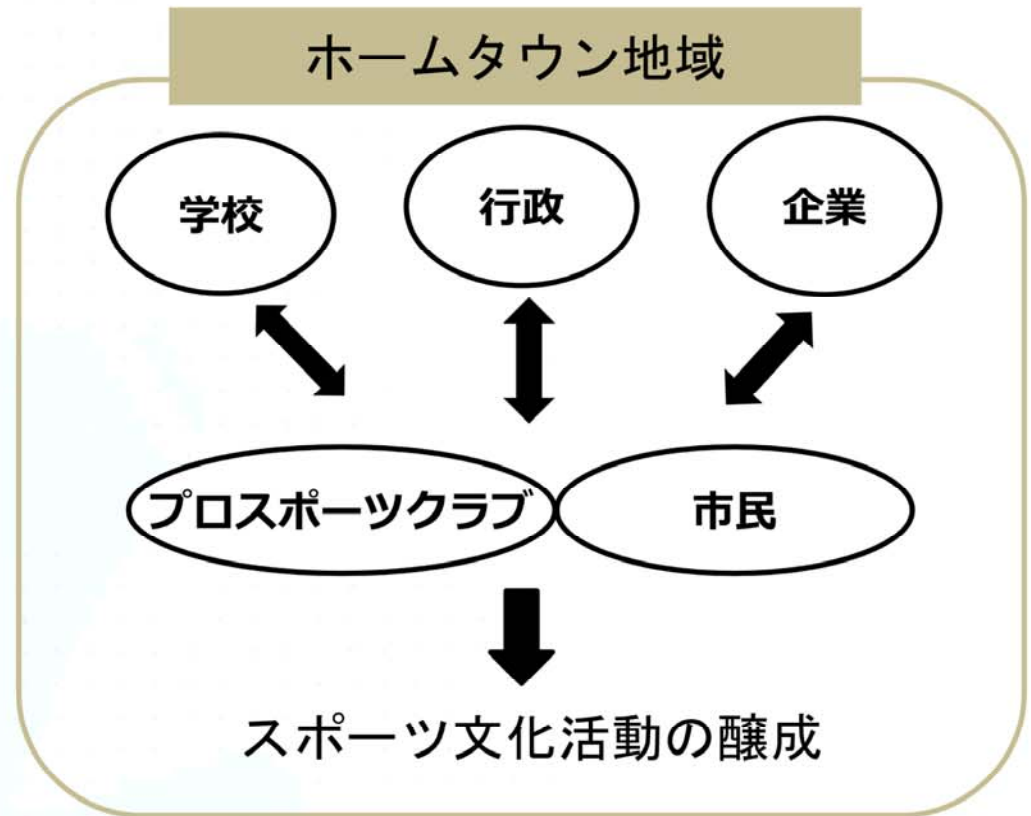
A photograph of several students in a classroom, all wearing face masks and looking down at their smartphones. The students are seated at desks, and the background shows a window with blinds and some classroom equipment. The text is overlaid on the image.

Y-LAP

Yokohama fc Liberal Arts Program

選手教育プログラム

プロスポーツクラブの役割



プロサッカークラブの役割はスポーツを「する」、「見る」という場を提供するだけでなく、ホームタウンの学校・企業・行政と一体となり、市民の方々とともに生活に密着した活動を行うことで、地域と連携したスポーツ文化活動を醸成する役割を担う。

プロサッカー選手の役割

サッカーのプレー



付加価値

「夢」、「希望」、「感動」

行動

発信

発言



価値を提供する！

プロサッカー選手は、単にサッカーを競技するだけでなく、ファン・サポーターをはじめ、多くの人に「夢」や「希望」、「感動」など多くの付加価値を与える役割も担っています。

脚光を浴びる選手たちの“行動”、“発言”、“発信”はとても重要で、プロアスリートとしての責任を十分に自覚するだけでなく、さらにその価値を高め、多様化する社会の中での振る舞い、姿勢が注目されています。

① 横浜FCの選手として、サッカー選手として、「一社会人」としての価値向上

情報や知識、コミュニケーションスキルを身に付けることにより、
プロサッカー選手としてはもちろん、人としての価値を高めることになる

② 1stキャリア(現役生活)の時から、「思考する力」の醸成

選手の2ndキャリアの重要性が問われているが、重要なのは現役選手中である。
1stキャリア時に、自らで「思考する力」を備えることで、
自らで道を切り開く力=行動へ変換させる。



プロスポーツクラブの役割、サッカー選手の役割を果たす為の、
「実践学習」(Liberal Arts)の実施

選手教育プログラム

Y-LAP (Yokohama fc Liberal Arts Program)

①定期プログラム

②定期講座プログラム

③自己表現プログラム

【対象】 計11名

1年目：1人

2年目：4人

3年目：4人

任意：2人

※【定期プログラム対象期間】

・2年間（高卒）1人

・1年間（大卒）1人

① 定期プログラム

・ 練習用具準備片付けサポート

通常の練習のマネージャーが実施する準備や片付けを積極的にサポートする。

・ 洗濯サポート

トレーニング後の練習着の選択をサポートする。

* 練習前後にマネージャーに声をかけて担当業務や担当時間を確認して取り組むこと。

* 公式戦出場が濃厚な選手については、マネージャーの裁量によりサポート時間を配慮する。

① 定期プログラム様子



② 定期講座プログラム

「自ら」考える為のきっかけ作り、「幅」を広げるための情報、スキルを取り入れる研修を実施。

「外側」からの刺激

③ 自己表現プログラム

選手自身が「自ら」について考えることを趣旨とした対話(面談)を実施の上、アウトプットする。

「内側」への働きかけ

② 定期講座プログラム-選手感想



■松尾 佑介選手

今回の講義を受けて、JFA・Jリーグ規約規定など選手として必要な知識を身に付けておくことが、自分のキャリアを設計していくうえで自分の身を守ること、手助けになることを感じました。

移籍金の金額はそれほど自分には関係ない事として捉えていたが、サッカー市場における自分自身の価値やシーズンの活躍によってどの程度変動するのか、その価値と年俸を照らし合わせて、自分は適正な評価を得ているか、その年俸に伴った貢献が出来ているかなど自分を客観視する視点もこれからは意識していきたいです。

自分はひとりの選手であるとともに、移籍市場やクラブにとっては「商品」であるということを理解することも大切だと思いました。

その価値を高めることは自分次第であるという部分に、プロサッカー選手としてのやりがいを感じるし、この職業ならではの魅力だなと感じています。

自分の活躍がこれまでお世話になったチームへの恩返しとなることなど、気づかないうちにいろいろなものを背負ってプレーしていたことを感じ、一つのモチベーションになりました。

■大内 一生選手

今回の講義を通じて、これまであまり意識していなかった事を理解できて良かったです。

移籍に関わる様々なお金の動きやチームを構成するにあたって、クラブがどういうことを意識して編成をおこなっているかを学ぶことが出来ました。

移籍に関しても条件や年齢、タイミングなどによって、金額などが変わってくることについて今回新たに知ることが出来ましたし、自分の活躍がこれまで在籍したチームへの一つの恩返しになることを感じています。

チームを構成するうえで、A契約の選手の登録人数には上限があります。しかし僕のようにそのクラブのアカデミー出身選手であれば、A契約の登録人数には含まれないホームグロウン制度が適用されます。アカデミー出身の選手が活躍することは選手自身の成長だけでなく、クラブにも大きな貢献ができることを理解してプレーすることはとても大切な要素だと実感しました。

選手自身が「自ら」について内省し、それを表現するプロジェクト

- ・ なぜ、自分はサッカー選手として今ここに立っているのか
-
- ・ どんな思いでサッカー選手になってきたのか。
- ・ どんな価値観を自分が大切にしているか。
- ・ 今後どうなっていきたいのか。

etc

掘り下げて、それを形に＝アウトプットすること

学びのサイクル



学びのサイクルを回す、一つの形をY-LAPを通じて行う

ご清聴ありがとうございました